



ドキュメンタリー映画Project Fukushima! シアトルプレミア無料上映会のお知らせ

日時	11月23日(日) 午後1時45分開場、2時開演
会場	Japanese Cultural & Community Center of Washington (JCCCW) 1414 South Weller Street Seattle, WA 98144
	入場無料

タイトル:Project Fukushima!	監督:藤井光
2012年ドキュメンタリー映画、90分	音楽:大友良英
日本語(英語字幕つき)	プロデューサー:沼田順

ベルビュー秋祭りでの上映会は両日とも満員で、震災以後3年以上たった今でも福島への関心の高さを示すこととなった。そのドキュメンタリー映画「プロジェクト Fukushima!」のシアトル無料上映会が11月23日に行われる。ワシントン州は今年スモールリアクター原子炉の使用の可能性を検討し始めた。¹ その今だからこそこの映画から学べることは多いはず。



写真:菊池良助

2011年の東北大震災から5ヵ月後、大友良英ら音楽家・芸術家によって、福島市内でアートフェスティバルが開かれた。フェスティバルの名前は「Fukushima!」。「がんばろう、福島!」などのスローガンのないただ単に「Fukushima!」。「Fukushima」の名前についてしまったネガティブなイメージを変えるためである。フェスティバルには1万3千人が参加、ネット放送では述べ25万人が視聴した。

このドキュメンタリー映画は、フェスティバルの準備期間から当日、その数ヵ月後の様子を淡々と追ったものである。フェスティバルは2013年のNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の音楽を担当した大友良英、遠藤ミチロウ、坂本龍一などのミュージシャンや福島在住の詩人と合亮一に加え、日本全国から手弁当でアーティスト・ボランティアが集まり、さらに福島の地元の人も出演した。

この映画は典型的なミュージックフェスティバルのドキュメンタリーではない。福島で行うフェスティバルだからこそ考えなければならぬ課題があった - 震災からたった5ヵ月後に福島に多くの、とくに子供たち、を集めることの是非、さ



写真:地引雄一

¹ [King5](#) で8月18日に報じられました。他にもいくつかのウェブサイト(e.g. [pennenergy.com](#), [crosscut.com](#), など)にも記述あり。

らに、もしフェスティバルが放射能によって開催できないとなった場合、福島の人たちに精神的ダメージをあたえる可能性などである。

映画全体を通し、震災後の福島（さらに日本全体）の日常がどう変わったか、この先福島(日本)の未来をどう作っていくのかということ、フェスティバル Fuskushima!を追うことによってドキュメントする。しかし、福島の人たちの被害・苦勞を知るためだけの映画ではなく、震災後の日本全体さらには全世界への未来へのメッセージである。

今回、このフェスティバルの趣旨、関わっている芸術家・音楽家の考えに深く感動し賛同したシアトルとカナダ・バンクーバーに在住のボランティアが、初めて北米で上映会を行う。ベルビューの後は、カナダ・バンクーバーでの上映を企画中。詳細は決まり次第ウェブサイト：<http://pjfukushima-northamerica.tumblr.com/> で発表される。

主催：[プロジェクト Fukushima! 北米ボランティア](#)、シアトル福島県人会、[Japanese Cultural & Community Center of Washington](#)

協力：[Project Fukushima!](#), [Dream-Vision](#)

問い合わせ：[プロジェクト Fukushima! 北米ボランティア](#): 牧原秀雄 pfna2014@gmail.com